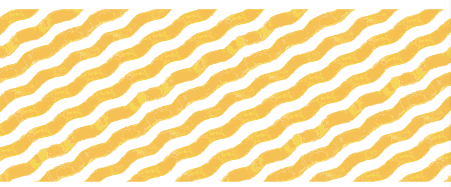
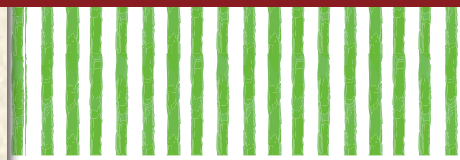




MIYAGI
PREFECTURE
JAPAN

私たちの 宮城県



持続可能な地域社会に向けて 誰もが豊かで暮らしやすい宮城を目指します

宮城県は、自然や文化、食材など豊富な地域資源に恵まれています。空港や港湾をはじめとする交通網も整備され、大型企業の新工場が立地するなど、東北の中心としてみずから重要な役割が期待されています。

東日本大震災から13年が経過しましたが、復興からその先のさらなる躍進に向けて、決意を新たに、県民の皆さん一人一人が幸福を実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城を目指してまいります。

宮城県知事 村井 嘉浩



Future Vision

新・宮城の将来ビジョン

宮城県の県政運営の基本的な指針である「新・宮城の将来ビジョン」の「県政運営の理念」の下、「被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート」と4つの「政策推進の基本方向」に沿って、さまざまな取り組みを行っています。

県政運営の理念

富県躍進！

“PROGRESS Miyagi”

～多様な主体との連携による
活力ある宮城を目指して～

復興完了に向けたサポートと4つの政策推進の基本方向

- 被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート
- 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進
- 社会全体で支える宮城の子ども・子育て
- 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり
- 強靱で自然と調和した県土づくり

私たちの宮城県 -CONTENTS-

● 新・宮城の将来ビジョン	01	● みやぎの施設	12
● みやぎの歴史	02	● みやぎの自然	13
● 東日本大震災からの宮城の復興	03	● みやぎの観光	14
● みやぎのトピックス	05	● みやぎの食	15
● みやぎの農業	07	● みやぎの祭り	16
● みやぎの林業	08	● 県の組織・議会・予算	17
● みやぎの水産業	09	● 市町村統計	18
● みやぎの工業	10	● みやぎマップ	
● みやぎの商業・貿易	11	● みやぎ検定	



みやぎの歴史

宮城のおいたち

今から1300年ほど前の宮城県は、福島県や岩手県とともに陸奥国と呼ばれ、東北地方の政治の中心となる役所が多賀城に置かれました。

400年ほど前になると、伊達政宗が仙台に城を築き、仙台藩の基礎をつくりました。

明治元年(1867年)に戊辰の役で仙台藩は降伏し、明治4年の廃藩置県より仙台県が置かれ、そして翌年の明治5年に宮城県となりました。

その後、県の廃止や改正が何度も行われ、明治9年に今の大きさや形の宮城県になりました。

「宮城県」の由来

かつての郡名「宮城郡」が由来とされており、「宮城」は志波彦神社や鹽竈神社などの「宮」、多賀城などの「城」からきているとされています。古代大和朝廷の直轄領を示す屯倉というものがなまって、「みやぎ」になったとの説もあります。

県庁舎の歴史

明治5年・藩校養賢堂から 宮城県庁がスタート

仙台城内にあった藩庁は、明治4年、現在の県庁敷地内にあった藩校養賢堂に仙台県庁として移り、翌明治5年に宮城県庁と改称されました。



県民に親しまれた“昭和の県庁”

昭和6年に完成した県庁舎は“昭和の県庁”として親しまれましたが、老朽化と地震による被害などがあり、昭和61年に新庁舎建設のために解体されました。

現在の庁舎は、昭和59年から建設を始め、議会庁舎(昭和61年完成)、行政庁舎(平成元年完成)、警察庁舎(平成3年)と新しく生まれ変わりました。



宮城の出来事

- 明治5年(1872年)
仙台県を宮城県と改称
- 明治9年(1876年)
統合宮城県成立(現在の県域)
- 昭和6年(1931年)
旧県庁舎完成
- 昭和20年(1945年)
仙台大空襲、第二次世界大戦終結
- 昭和32年(1957年)
仙台空港開港
- 昭和35年(1960年)
チリ地震津波で被害
- 昭和46年(1971年)
仙台港開港
- 昭和52年(1977年)
新仙台駅開業
- 平成元年(1989年)
新庁舎完成
- 平成2年(1990年)
仙台空港国際定期便就航
- 平成3年(1991年)
ひとめぼれ誕生
東北新幹線、東京駅開業
- 平成6年(1994年)
ブランメル仙台
(現ペガルタ仙台) 発足
- 平成9年(1997年)
宮城大学開学
- 平成14年(2002年)
FIFAワールドカップ大会 宮城開催
- 平成16年(2004年)
東北楽天ゴールデンイーグルス発足
- 平成17年(2005年)
仙台89ERS(エイティナイナース) 発足
- 平成19年(2007年)
仙台空港アクセス鉄道開業
- 平成20年(2008年)
岩手・宮城内陸地震発生
- 平成23年(2011年)
東日本大震災発生
- 平成24年(2012年)
ペガルタ仙台レディース
(現マイナビ仙台レディース) 発足
- 平成29年(2017年)
第11回全国和牛能力共進会宮城大会開催
- 平成30年(2018年)
だて正夢本格デビュー
- 令和元年(2019年)
気仙沼大島大橋開通
令和元年東日本台風で被害
- 令和3年(2021年)
第40回全国豊かな海づくり大会
～食材王国みやぎ大会～開催

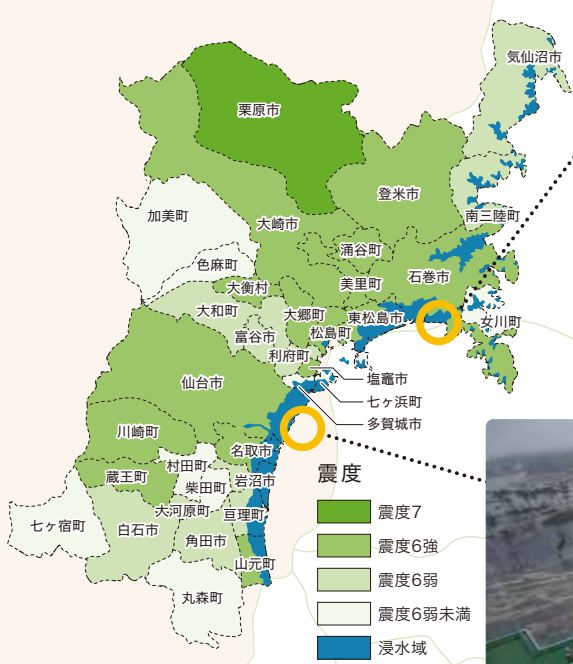


東日本大震災からの宮城の復興

震災の概況

発生日時	2011年3月11日午後2時46分	行方不明者	1,215人
発生場所	三陸沖 (牡鹿半島の東 約130°付近)	全壊した住家	8万3,005棟
最大震度	震度7 (栗原市)	半壊した住家	15万5,131棟
規模	マグニチュード9.0	被害総額(確定値)	9兆968億円
死者	1万571人	活動ボランティア	延べ77万9,328人

令和5年9月末日時点



D みやぎ東日本大震災津波伝承館



石巻南浜津波復興祈念公園(6)内に整備された施設です。震災の記憶と教訓を永く後世に伝え継ぐことを目的に、被災状況や津波から尊い命を守るための教訓などをパネルや映像で伝えるほか、県内の語り部団体や伝承施設などを紹介しています。

平成23年3月11日、東日本大震災が発生しました。この地震で発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者が生じました。仙台平野などの平野部では、海岸線から数キロメートルもの内陸まで広範囲に浸水しました。



県内の震災の風化防止・伝承施設

東日本大震災の記憶の風化が進む中、
宮城県内では多くの伝承施設や石碑、震災遺構の整備が進められています。

※この他に、民間施設も整備されています。

- | | |
|---|--|
| 1 気仙沼市復興祈念公園 | 8 松島町石田沢防災センター |
| 2 リアス・アーク美術館
※「東日本大震災の記憶と津波の災害史」常設展示 | 9 塩竈市津波防災センター |
| 3 南三陸町震災復興祈念公園 | 10 多賀城市東日本大震災モニュメント |
| 4 石巻市震災遺構大川小学校 | 11 せんだい3.11メモリアル交流館 |
| 5 東日本大震災遺構 旧女川交番 | 12 名取市震災復興伝承館 |
| 6 石巻南浜津波復興祈念公園 | 13 岩沼市千年希望の丘交流センター |
| 7 東松島市東日本大震災復興祈念公園 | 14 山元町防災拠点・山下地域交流センター
(1階 防災情報コーナー) |



A 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



震災の記録と教訓を伝承するため、津波で4階まで被災した気仙沼向洋高校旧校舎を“目に見える証”である「震災遺構」として保存しました。震災時の津波映像や被災直後の写真を備える「震災伝承館」を併設しています。

B 南三陸311メモリアル



住民の証言映像や現代美術家クリスチャン・ボルタンスキーによるインスタレーション空間を通して防災や減災について、「自分だったら何ができるか」に向き合う体験ができます。

C 石巻市震災遺構門脇小学校



津波火災の痕跡を残す唯一の震災遺構です。外通路から校舎内部を見学することができ、津波の威力や津波火災の恐ろしさを体感できます。併設する展示館では、実物資料の展示や映像の放映を通して津波について学ぶことができます。

E 震災遺構仙台市立荒浜小学校



被災した校舎を、極力ありのままの姿に保存し、被災直後の写真展示などで津波の威力や脅威を後世に伝えています。また、荒浜地区の歴史や文化、思い出なども展示しています。

F 山元町震災遺構中浜小学校



大津波から90人の命を守り抜いた県南唯一の震災遺構です。被災した校舎に立ち入ることができ、津波の痕跡や当時を振り返る映像、子どもたちが一夜を明かした屋根裏倉庫など、震災被害と教訓を強く訴えるスポットで構成されています。

みやぎのトピックス

TOPICS
01

地理

宮城県は日本の首都・東京都から北東約300キロメートルに位置しています。東側は太平洋に面し、豊かな漁場と日本三景の一つである松島をはじめとする風光明媚な観光地に恵まれています。西側には蔵王・船形・栗駒などの山々が連なり四季折々の姿を見せ、中央部には有数の穀倉地帯である仙台平野が広がります。

■ 総面積

7,282.29平方キロメートル (全国16位)

※国土地理院「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」

■ 総人口

225万7,472人

(男:110万1,028人 女:115万6,444人) (全国14位)

※総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」に基づく人口(令和5年1月1日現在)

■ 気温と降水量

	春 (4月~6月)	夏 (7月~9月)	秋 (10月~12月)	冬 (1月~3月)
平均気温	17.2℃	26.8℃	11.3℃	4.8℃
降水量合計	345.0mm	457.0mm	141.5mm	102.5mm

※気象庁ホームページ(令和5年仙台市の数値)



松島湾



蔵王の御釜

■ 県内総生産(名目)

9兆4,852億円 (全国14位)

■ 一人当たり県民所得

2,803千円 (全国23位)

出典: 県統計課「令和2年度宮城県民経済計算年報」
※順位は、内閣府「県民経済計算」から算定

TOPICS
02

伝統的工芸品

主に江戸時代に花開き、脈々と受け継がれてきた19品目の伝統的工芸品があります。



宮城伝統こけし

国指定

- 宮城伝統こけし
- 雄勝硯すずり
- 鳴子漆器
- 仙台筆筒ひんす

県指定

- 白石和紙
- 堤焼
- 埋木細工うまれぎ
- 岩出山の竹細工
- 中新田打刀物
- 松笠風鈴
- 堤人形
- 切込焼
- 仙台張子
- 仙台釣竿
- 仙台平
- 仙台御筆
- 玉虫塗
- 若柳地織
- 仙台堆朱ついしゆ

TOPICS
03

指定文化財

建造物や遺跡、美術工芸品、名勝や天然記念物、伝統的な技や芸能、古くから続く祭礼など、450件以上の国指定・県指定の文化財があります。



国宝 大崎八幡宮

- 国宝 大崎八幡宮 …………… 仙台市
- 国宝 瑞巖寺本堂(元方丈) …………… 松島町
- 国宝 瑞巖寺庫裏及び廊下 …………… 松島町
- 国宝 類聚国史巻第廿五 …………… 仙台市
- 国宝 史記孝文本紀第十 …………… 仙台市
- 国宝 慶長遣欧使節関係資料 …………… 仙台市
- 特別史跡 多賀城跡附寺跡 …………… 多賀城市
- 特別名勝 松島 …… 塩竈市・七ヶ浜町・利府町・松島町・東松島市
- 特別天然記念物
鬼首の雌釜、雄釜間歇温泉 …………… 大崎市(旧鳴子町)ほか



伊達政宗騎馬像(仙台北城跡)

仙台藩を築いた伊達政宗公(1567~1636年)。時代を代表する文化人でもあり、斬新で豊かな「伊達」な文化を華開かせました。



TOPICS 04 スポーツ

仙台市内を中心に、本拠地を置くスポーツチームが数多くあります。

「東北・みやぎ復興マラソン大会」や「ツール・ド・東北」などのスポーツイベントも活発で、各地でにぎわいを見せています。



©Rakuten Eagles



●東北楽天ゴールデンイーグルス

楽天モバイルパーク宮城は野球観戦はもちろん、グルメやイベントなどさまざまなエンターテインメントが楽しめるボールパークです。日本一ファンに愛される球団を目指し、チーム一丸となって東北を熱く盛り上げていきます。



©SENDAI 89ERS



●仙台89ERS

2005年に設立したプロバスケットボールチーム。バスケットボールを通じた豊かな社会づくり、元気なまちづくりを目指し、バスケットボールの普及はもちろん、地域と連携した「NINERS HOOP」の活動に力をいれています。



©VEGALTA SENDAI



●ベガルタ仙台

ホームスタジアムの「ユアテックスタジアム仙台」はスタンドを覆う屋根が場内の熱気と歓声を包み込み、プレーヤーと観客の興奮と感動を一体化させる「劇場型スタジアム」です。Jリーグの迫力ある試合をぜひスタジアムでご覧ください！



©mynavisendai



●マイナビ仙台レディース

日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」3年目を戦うマイナビ仙台レディース。地域における存在価値を高め、在仙プロスポーツチームと連携しながら、より一層仙台、宮城を盛り上げる存在を目指します！

TOPICS 05 県民栄誉賞

スポーツ・学術の分野において輝かしい業績を上げ、かつ、広く県民に敬愛され、県民に希望と活力を与えたと認められるもので功績の顕著な方を表彰しています。

●佐々木 主浩さん (平成10年授与)

仙台市出身の元プロ野球選手。「大魔神」の愛称で日米で抑え投手として活躍した。1998年の横浜ベイスターズの優勝に貢献。

●田中 耕一さん (平成14年授与)

東北大学名誉博士。2002年にノーベル化学賞を受賞。

●荒川 静香さん (平成18年授与)

東北高等学校出身のプロフィギュアスケーター。2006年トリノ五輪では日本人初の金メダルを獲得。

●岩隈 久志さん (平成21年授与)

プロ野球選手。東北楽天ゴールデンイーグルスの球団創設時にチームに加入し、日本を代表する投手として2009年WBCなどで活躍。

●株式会社楽天野球団 (平成25年授与)

プロ野球2013シーズンに日本一に輝き、東日本大震災の被災地に夢と感動を与え、復興への象徴となった。

●田中 将大さん (平成25年授与)

プロ野球選手。東北楽天ゴールデンイーグルスのエースとして、2013年のリーグ優勝に大きく貢献。

●羽生 結弦さん (平成26年、30年授与)

仙台市出身のフィギュアスケート選手。2014年ソチ五輪、2018年平昌五輪で金メダルを獲得。



●高橋 礼華さん・松友 美佐紀さん (平成28年授与)

聖ウルスラ学院英智高等学校出身の女子バドミントンペア。2016年リオデジャネイロ五輪で日本人初となる金メダルを獲得。

●松山 英樹さん (令和4年授与)

東北福祉大学出身のプロゴルファー。2021年のマスターズ・トーナメントで、アジア人選手および日本人男子として初の優勝を果たす。



みやぎの農業



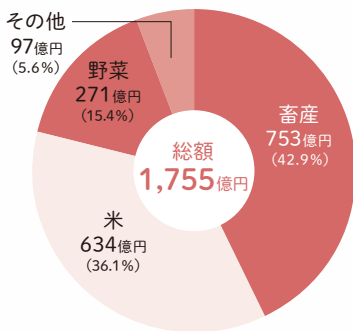
宮城県育成品種「にこにこベリー」

豊かなみやぎの食と農の発信・共創力強化

宮城県は海・山・大地に育まれた豊かな食材に恵まれています。「ひとめぼれ」「ササニシキ」「だて正夢」「金のいぶき」などのみやぎ米やイチゴやパプリカなどの園芸作物の生産と販売拡大に取り組んでいます。また、肉質等級が最高ランクの5等級のみという厳しい基準を持つブランド牛である「仙台牛」のさらなる銘柄推進を図っています。



宮城が誇るブランド牛「仙台牛」



農業産出額 (令和3年)
※令和3年農林水産統計

順位	品目	生産量
1位	パプリカ	1,370トン
1位	セリ	424トン
2位	大豆	15,800トン
2位	ツルムラサキ	149トン
5位	米	326,500トン
5位	ソラマメ	476トン
9位	肉用牛	80,100頭
9位	乳用牛	17,100頭
10位	イチゴ	4,870トン

生産量全国上位の農産物

※肉用牛、乳用牛は令和4年度飼養頭数、大豆、米、ソラマメ、イチゴは令和4年産、ほかは令和3年産収穫量



みやぎ米「だて正夢」PRイベント



パプリカ・トマトの次世代施設園芸 (石巻市)

これからのみやぎの農業

我が県が誇るブランド農産物の米「だて正夢」やイチゴ「にこにこベリー」、「仙台牛」をはじめとする「食材王国みやぎ」の自慢の品々を国内外に向けて発信していくとともに、競争力の高い園芸産地の確立や、アグリテック※による農業生産の効率化と高度化を推進し、多様な人材が農業現場で活躍する、魅力ある農業の実現を目指します。

食と農に関わる全ての人材が結びつき活躍することにより、豊かなみやぎの食と農の未来を共に創っていく力を強化していきます。

※アグリテック…農業にスマート農業技術を含むICT (情報通信技術) 等の先進技術を導入することで、省力・軽労化を図るなどの課題を解決すること。



高性能林業機械による集材作業（大郷町）

大切な緑の社会資本の保全と木材の利用拡大を目指して

県土面積のおよそ半分を占める森林は、四季折々で美しく姿を変え、木材やキノコなどの恵みをもたらし、「水源のかん養」や「自然災害の防止」、「CO₂の吸収・地球温暖化の防止」など、県民の暮らしに欠かせないとても重要な役割を果たしています。

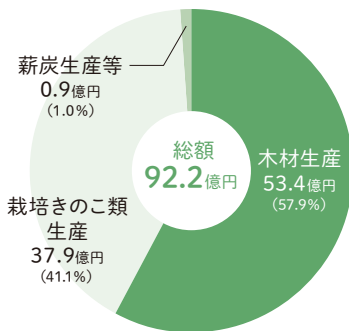
宮城県内の森林は、スギやヒノキなどが大きく育ち、利用の適期を迎えており、住宅や家具などさまざまな場面に利用されています。



原木シイタケ



ボランティアによる海岸防災林の保育活動



林業産出額（令和3年）
※令和3年農林水産統計

5位	マツ	33千㎡
6位	ナメコ	949トン
6位	マツタケ	0.3トン
8位	スギ	595千㎡
8位	広葉樹	48千㎡
9位	エノキダケ	1,656トン
10位	ブナシメジ	3,152トン

生産量全国上位の林産物（令和4年）



CLTを使用した建物の内部

これからのみやぎの林業

FSC（森林管理協議会）認証やCLT（直交集成板）建築の普及による新たな木材需用の掘り起こし、県産材の利用拡大と再生林の取り組みを進めることにより、「木を使い・植え・育てる」森林資源の循環利用を推進します。

また、県民参加型の森林づくり活動や森林病虫害防除対策を推進し、県民の皆さんが森や木を身近に感じながら安心して暮らせる宮城の実現を目指します。



カキの水揚げ

環境と調和した持続可能な水産業を目指して

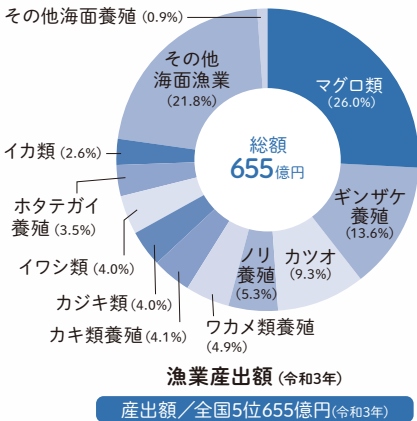
豊かな漁場に恵まれている宮城県は、マグロやカツオなど、たくさんの種類の魚が水揚げされるほか、ギンザケやカキなどの養殖も盛んな全国屈指の水産県です。

また、多くの漁港や魚市場を有しており、水産加工業も古くから有力な地場産業の一つとして発展してきました。

県産品として初めてGI（地理的表示）に登録された「みやぎサーモン」など魅力ある県産水産物の付加価値向上や国内・海外への販路開拓・拡大に取り組んでいます。



塩釜市魚市場（マグロの水揚げ）



品目	順位	生産量
魚類	1位	ギンザケ（養殖） 15,806トン
	1位	サメ類 10,633トン
	1位	カジキ類 2,543トン
	2位	カツオ 30,658トン
	2位	マグロ類 18,303トン
	3位	サンマ 2,341トン
その他	1位	ワカメ類（養殖） 19,024トン
	1位	ホヤ類（養殖） 4,355トン
	2位	カキ類（養殖）※殻付き 22,335トン
	2位	オキアミ類 1,489トン
	2位	ガザミ類 357トン
3位	ホタテガイ（養殖） 7,335トン	

生産量/全国4位 267,356トン(令和3年)



みやぎサーモン

※令和3年農林水産統計



みやぎ漁師カレッジ（定置網研修）

これからのみやぎの水産業

近年、海水温上昇などによるサンマなどの冷水性魚種の水揚げ量の減少や漁業就業者の高齢化・減少、消費者の魚離れなど、水産業を巡る情勢は大きく変化しています。

今後は、海洋環境や社会情勢の変化に対応できるよう、暖水性魚種の利活用推進や、新たな養殖種の探索、陸上養殖技術の研究・普及などを進めるとともに、「みやぎ漁師カレッジ」による新規漁業就業者の確保や、ICTなどの導入による労働の省力化・効率化に加え、県産水産物の消費拡大や国内外における販路開拓を図っていきます。

また、藻場造成及び海藻養殖などを通じた環境保全等に取り組み、本県水産業の目指すべき姿「環境と調和した持続可能で活力ある水産業」の確立に向けて、各種施策に取り組んでいきます。



トヨタ自動車東日本の工場（大衡村）

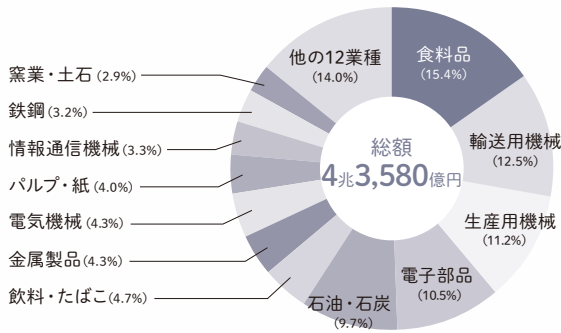
地域企業の成長と発展を支援する

ものづくり産業の振興は、地域の活性化や雇用機会の確保など、地域経済の発展に大きな役割を果たしています。

宮城県のものづくり産業は、臨海部では石油、製紙、鉄鋼などの素材型工業が、内陸部では電子部品や自動車などの加工組立工業が集積しているほか、豊かな県産食材などを生かした食料品製造業も発展を遂げています。



ものづくり企業見学会



製造品出荷額等（令和2年） ※令和2年宮城県の工業



第二仙台北部中核工業団地（大衡村）

これからのみやぎの工業



次世代放射光施設 Nano Terasu

宮城県の産業経済の力強い成長と豊かな社会の実現のため、引き続き、自動車関連産業や高度電子機械産業、食品関連産業などを中心としたものづくり産業の一層の集積を図っていきます。

企業立地奨励金などを活用した企業誘致の取り組みを進め、新たな投資を促進するとともに、県内中小企業などの技術力向上や生産性改善、取引拡大などの支援を行うことで、地域産業の競争力強化を図っていきます。

また、東北大学青葉山新キャンパスで令和6年（2024年）に本格稼働する「次世代放射光施設（ナノテラス）」を中核として、宮城発の技術革新、新産業創出に向けて、企業や研究機関の立地促進、県内企業の研究開発支援に取り組んでいきます。

みやぎの商業



仙台市中心部商店街のひとつ一番町一番街商店街(仙台市青葉区)

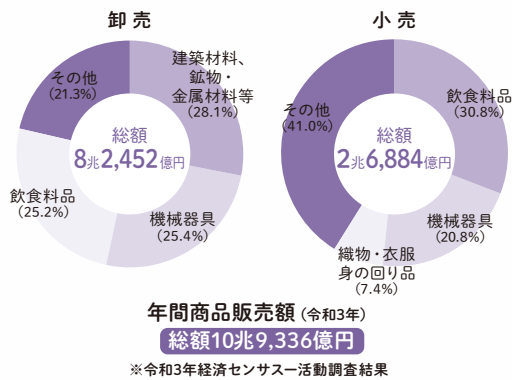
東北随一の商業都市とにぎわいの創出が進む商店街



イベントでにぎわう長町駅前商店街(仙台市太白区)

宮城県の中心部である仙台は東北最大の商業都市であり、大型店や魅力的な商店が軒を連ねています。

また、沿岸地域をはじめとする県内の各地域では、地域の特色を生かした商店街の形成や個性的な取り組みにより、にぎわいの創出を目指しています。



これからのみやぎの商業

県内各地で、商業を取り巻く環境はコロナ禍前の状況に戻つつあるものの、通信販売の普及などによる生活様式の変化から、地域のにぎわいが失われてきています。そのため、商店街ビジョンの形成や新たな担い手の創出など、地域の担い手が主体的に新たなにぎわいを創る取り組みを支援し、魅力的で持続可能な地域商業の構築を進めます。



全長1.5kmに及ぶ宮町商店街(仙台市青葉区)

東北と世界を結ぶ玄関口として

仙台塩釜港は、東日本大震災からの復旧・復興が進み、現在は県内および東北の産業や経済を支える国際海上物流の拠点となっています。

仙台空港は、民営化以降、路線が拡充され、ソウル、大連-北京、上海、台北、バンコクへの定期便などが運航されています。

※令和6年3月現在、バンコク線は運休中



仙台塩釜港(仙台港区)雷神ふ頭



仙台塩釜港(仙台港区)高砂コンテナターミナル

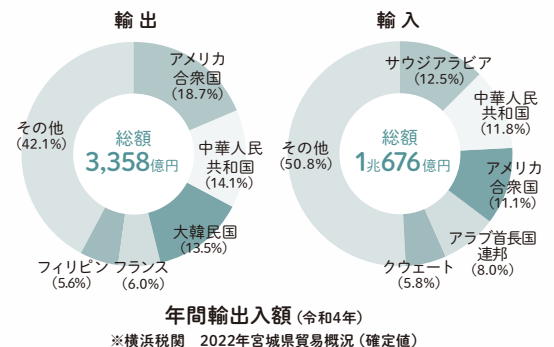
みやぎの貿易

これからのみやぎの貿易

仙台塩釜港では、東北の立地企業の国際競争力強化のため、混雑の解消と将来の貨物量増加を見据えたコンテナターミナルの整備を進めています。仙台空港では、空港の利用促進と航空路線の拡充による旅客数・貨物取扱量の増加に向けて、空港会社をはじめとする関係団体と連携した取り組みを進めています。



仙台空港





01

**宮城県総合運動公園
(グランディア・21) (利府町)**

「キューアンドエースタジアムみやぎ」をはじめとする、複合スポーツ施設運動公園です。スタジアムは、東京2020オリンピック競技大会のサッカー競技会場として利用されました。

☎022-356-1122

※災害復旧工事により一部使用できない施設があります。

文化・スポーツの
魅力に触れる。



02

県民の森 (利府町・仙台市・富谷市)

クラブ体験や森林散策、木製アスレチックの利用ができます。

☎022-255-8801



03

宮城県図書館 (仙台市)

緑豊かな紫山に位置し、約120万点の資料を利用できます。

☎022-377-8441



04

**宮城県民会館
(東京エレクトロンホール宮城) (仙台市)**

仙台市中心部に位置し、さまざまなコンサートや演劇の公演が行われています。

☎022-225-8641



05

**宮城球場
(楽天モバイルパーク宮城) (仙台市)**

東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地球場です。観覧車などのアトラクションも人気です。

☎022-298-5300

**みやぎ
の施設**

学術・文化・スポーツ施設など、
多彩なスポットが数多く
揃っています。

06

宮城県美術館 (仙台市)

日本の近代以降の作品や、カンディンスキー、クレーなど海外作家の作品を所蔵。誰でも利用できる創作室もあります。

☎022-221-2111

※リニューアル工事のため休館中



その他の施設

- 07 宮城大学 (大和町・仙台市)
大和キャンパス ☎022-377-8205
太白キャンパス ☎022-245-2211
- 08 宮城県伊豆沼・内沼
サンクチュアリセンター (栗原市)
☎0228-33-2216
- 09 社の都信用金庫
「モリリン加瀬沼公園」
(塩竈市・多賀城市・利府町)
☎022-767-2723
- 10 東北歴史博物館 (多賀城市)
☎022-368-0106
- 11 宮城県慶長使節船ミュージアム
(サン・ファン館) (石巻市)
☎0225-24-2210
※リニューアル工事のため休館中



01 志津川湾(南三陸町)
リアス海岸が連なる三陸復興国立公園の南部に位置し、寒流と暖流の両方が流れ込む海域で多様な生き物が生息しています。海藻藻場としては国内初のラムサール条約湿地となっています。

壮大な山と
広大な海を望む。



みやぎ の自然

山と海に囲まれた大地には、
豊かな自然が
育まれています。



02 秋保大滝(仙台市)
日本の滝百選に選ばれ、国の名勝に指定されています。轟音をたてて流れ落ちる様は豪快な迫力です。



03 伊豆沼・内沼(栗原市・登米市)
国内2番目のラムサール条約湿地であり、渡り鳥の国内最大級の越冬地として、多くのガンカモ類が飛来します。



04 栗駒山(栗原市)
登山客でにぎわいを見せる栗駒山は、夏はニッコウキスゲなどの高山植物が、秋には一面の紅葉が見どころです。
※おでかけの際は渋滞情報に注意してください。



05 阿武隈溪谷(丸森町)
阿武隈川が長い時をかけて刻んだ溪谷では、四季折々に移り変わる兩岸の風景を見ることができます。

06 宮城蔵王
(白石市・蔵王町・七ヶ宿町・川崎町)
宮城県と山形県にまたがる蔵王連峰は、シンボルである火口湖「御釜」や、特有の自然環境が創り出す「樹氷」など、山岳の多彩な自然が見られます。



その他の自然

- 07** 巨釜半造(気仙沼市)
- 08** 神割崎(南三陸町・石巻市)
- 09** 出島(女川町)
- 10** 万石浦(石巻市)
- 11** 金華山(石巻市)
- 12** 七ツ森(大和町)
- 13** 長老湖(七ヶ宿町)

その他の主な観光地

- 07 気仙沼海の市 / シャークミュージアム (気仙沼市)
- 08 シーバルビア女川 (女川町)
- 09 天平ろまん館 (涌谷町)
- 10 鹽竈神社 (塩竈市)
- 11 多賀城跡附寺跡 (多賀城市)
- 12 仙台城跡 (青葉城址) (仙台市)
- 13 船岡城址公園 (柴田町)
- 14 白石城 (白石市)
- 15 齋理屋敷 (丸森町)



02 日本三景・松島
遊覧船で松島湾の風光明媚な景観を楽しめるほか、伊達政宗公ゆかりの瑞巖寺、五大堂などの名所がたくさんあります。



03 南三陸さんさん商店街 (南三陸町)
建築家の隈研吾氏が設計し、南三陸“美人杉”がふんだんに使われる商店街。28店舗が軒を連ね、多くの観光客が訪れます。



04 みやぎの明治村 (登米市)
教育資料館などのハイカラな洋風建築物や蔵造りの商家など明治時代の面影あるモダンな街並みを楽しむことができます。



05 石ノ森萬画館 (石巻市)
宮城県出身の萬画家・石ノ森章太郎の記念館で、作品の原画などが展示されています。

01 白石川堤一目千本桜 (大河原町・柴田町)
白石川沿い8kmにわたってきれいな桜が立ち並びます。雪を頂く蔵王連峰との絶妙な調和が見ものです。



みやぎの観光

季節によって異なる
美しい景色や歴史ある建物が
たくさんあります。



鳴子温泉 滝の湯

歴史と気候が
生んだ名所。

06 鳴子温泉郷 (大崎市)
鳴子、東鳴子、川渡、中山平、鬼首の5カ所の温泉地からなる温泉郷。約370本の源泉があり、日本に10種ある泉質のうち、7種が楽しめます。



仙台牛

米どころ宮城県の良質な稲わらを食べて育つ「仙台牛」は最高級の品質を誇る銘柄です。

ホヤ

宮城県の夏の味覚の代表ともいえるホヤ。むき身は肉厚でやわらかく、一度食べたらクセになる独特の風味です。(生産量全国第1位)



宮城が誇る
絶品の食材とグルメ。



パプリカ

食卓をカラフルに彩るパプリカ。果肉の厚さとフルーツのような甘味が人気です。(収穫量全国第1位)



食材王国みやぎ
FOOD KINGDOM MIYAGI

みやぎの食

豊かな海・山・大地に恵まれ、
おいしい食材や料理を
味わえます。



イチゴ

宮城県は東北一の収穫量を誇るイチゴの産地です。宮城生まれの品種では「もういっこ」と「にこにこベリー」があります。



カキ

宮城県は全国有数のカキの産地です。ぷっくりとしたその身は甘く濃厚な味わいです。(生産量全国第2位)



ずんだ餅

つぶした枝豆を甘い餡にし、餅と絡めています。宮城県を代表する名物です。



セリ

しゃきしゃきとした食感と爽やかな香りが魅力です。セリ鍋は冬の定番グルメです。(収穫量全国第1位)



はらこ飯

サケの切り身とイクラをふんだんに使用した郷土料理です。



仙台七夕まつり (仙台市 / 8月)

仙台市中心部で行われる東北最大級のイベント。毎年手作りされる豪華絢爛な笹飾りが商店街を埋め尽くします。



鬼小十郎まつり (白石市 / 10月)

白石城を舞台に、二代目城主・片倉小十郎の軍と真田軍の大坂夏の陣での決戦を再現しており、当時の雰囲気味わえます。



**はつまま
初午まつり
(火伏せの虎舞)**
(加美町 / 4月)

お囃子と太鼓に合わせて町内を色鮮やかな山車と虎が練り歩き、家内安全や防災を祈願します。

人々の活気あふれる祭りの数々。



みやぎの祭り

伝統的なお祭りや新しいイベントに
県内外からのたくさんの人々で
盛り上がります。



塩竈みなと祭
(塩竈市 / 7月)

みこし神輿が乗り入れた船が海上を巡り、繁栄を祈ります。花火大会なども催され、まち全体がにぎわいます。



**SENDAI
光のページェント**
(仙台市 / 12月)

仙台市の冬の風物詩。けやき並木がライトアップされる瞬間は圧巻です。



**よねかわ
米川の水かぶり**
(登米市 / 2月)

しめ縄を身に付けた男性たちが、家々に水を掛け、火伏せを祈願して歩くという風変わりなお祭りです。
(ユネスコ無形文化遺産)

県の組織・議会・予算



Organization

県の組織

県民との対話と相互理解を基本とし、さまざまな県政運営を行っています。

県民

有権者が知事と
県議会議員を
選挙で選びます。

知事

副知事

県議会

行政委員会

教育委員会、公安委員会、選挙管理委員会、
人事委員会、監査委員、労働委員会、
収用委員会、宮城海区漁業調整委員会、
内水面漁場管理委員会

会計管理者

公営企業管理者

総務部

予算、税金、広報など

復興・危機管理部

復興の推進、危機管理など

企画部

県政の総合的企画、地域振興など

環境生活部

環境政策、芸術文化の振興など

保健福祉部

医療政策、健康対策、
福祉政策、子育て支援など

経済商工観光部

企業誘致、観光など

農政部

農業の振興など

水産林政部

水産業・林業の振興など

土木部

道路・河川・港湾・空港など

出納局

県の資金管理、決算業務など

企業局

広域水道・工業用水道・
流域下水道の経営・管理など

Assembly

県議会

選挙で選ばれた県民の代表が、
県政運営に必要な事項の審議を行います。

議会の主な仕事

議決

県条例の制定・改正・廃止、予算の決定、決算の認定など、
県政の重要事項について議決します。

選挙・同意

議長・副議長・選挙管理委員などの選挙を行います。
知事が任命する副知事などの人事については、議会の同意が必要です。

調査

県の仕事が議会の議決どおりに執行されているかどうかなどを調査します。
必要に応じて関係者への意見や説明を求めることもあります。

請願の受理

県民の請願を受けて審査し採択された請願のうち、執行機関で処理する
ことが必要なものは、知事などへ送付します。



議会について

県議会は選挙で選ばれた定数59人の議員で構成されます。2・6・9・11月の年4回の定例会のほか、必要に応じて臨時会が開催されます。県議会議員の任期は4年です。

Budget

予算

令和6年度の歳出予算は1兆238億円で、
次のように使われます。

福祉や健康のために

1,842 億円

小中学校・高校・大学などの教育に

1,837 億円

市町村や他県などへの税交付金などに

1,662 億円

商工業の振興と働く人々のために

1,574 億円

県が借りているお金の返済に

1,082 億円

道路・河川・港湾などの整備に

597 億円

警察活動に

572 億円

危機管理、統計、選挙などに

506 億円

農林水産業の振興に

466 億円

その他

100 億円

本年度予算では、「宮城の将来像」の実現に向けた富県躍進につなげるため、人口減少対策として、若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境整備などの総合的な対策強化と、DXによる「変革みやぎ」の実現に向けた、あらゆる分野でデジタル技術をフル活用する取り組みの推進、さらに、昨年立地決定した半導体受託製造企業の関連サプライヤーの進出支援による半導体関連産業の集積・振興の促進について、重点的に予算化しています。

また、脱炭素社会の実現に向けた取り組みや防災・減災に向けた対策、復興完了に向けた被災者の実情に応じたきめ細かな対策について予算化しています。

宮城県には個性あふれる

35の市町村があります。

14市20町1村からなる35市町村があり、大きく7つの地域に分けられます。各地域、それぞれの特徴を生かしたまちづくりが進められています。



登米地域(1市)

● 県東部地方振興事務所
登米地域事務所
☎0220(22)6111
〒987-0511 登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

市町村名	面積(km ²)	人口(人)
登米市	536.09	73,417
計	536.09	73,417

気仙沼・本吉地域(1市1町)

● 県気仙沼地方振興事務所
☎0226(24)2121
〒988-0181 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6

市町村名	面積(km ²)	人口(人)
気仙沼市	332.44	57,726
南三陸町	163.40	11,780
計	495.84	69,506

栗原地域(1市)

● 県北部地方振興事務所
栗原地域事務所
☎0228(22)2111
〒987-2251 栗原市築館藤木5-1

市町村名	面積(km ²)	人口(人)
栗原市	805.00	62,012
計	805.00	62,012

大崎地域(1市4町)

● 県北部地方振興事務所
☎0229(91)0701
〒989-6117 大崎市古川旭4-1-1

市町村名	面積(km ²)	人口(人)
大崎市	796.81	123,915
色麻町	109.28	6,286
加美町	460.67	21,468
涌谷町	82.16	14,656
美里町	74.99	23,214
計	1523.91	189,539

石巻地域(2市1町)

● 県東部地方振興事務所
☎0225(95)1411
〒986-0850 石巻市あゆみ野5-7

市町村名	面積(km ²)	人口(人)
石巻市	554.55	134,919
東松島市	101.30	38,385
女川町	65.35	5,919
計	721.20	179,223

仙南地域(2市7町)

● 県大河原地方振興事務所
☎0224(53)3111
〒989-1243 大河原町字南129-1

市町村名	面積(km ²)	人口(人)
白石市	286.48	31,293
角田市	147.53	26,967
蔵王町	152.83	11,094
七ヶ宿町	263.09	1,223
大河原町	24.99	23,540
村田町	78.38	10,058
柴田町	54.03	36,839
川崎町	270.77	8,133
丸森町	273.30	11,928
計	1551.40	161,075

仙台地域(6市7町1村)

● 県仙台地方振興事務所
☎022(275)9111 〒981-8505 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

市町村名	面積(km ²)	人口(人)	市町村名	面積(km ²)	人口(人)
仙台市	786.35	1,066,778	松島町	53.56	13,103
塩竈市	17.37	52,099	七ヶ浜町	13.19	17,807
名取市	98.18	79,673	利府町	44.89	35,874
多賀城市	19.69	62,128	大和町	225.49	27,999
岩沼市	60.45	43,435	大郷町	82.01	7,612
富谷市	49.18	52,359	大衡村	60.32	5,578
亶理町	73.60	33,098	計	1648.86	1,509,116
山元町	64.58	11,573			

令和5年11月末現在

みやぎ 検定

ご存じ
ですか？

なるほど宮城



「宮城マスター検定」とは？

宮城県の理解を深めていただき、魅力を広く発信していくための検定です。1級試験は年1回の難関ですが、模擬テストにはPCやスマートフォンから、手軽に参加できます。県内施設の割引やご当地キャラクターのスタンプラリーなどの仕組みを用意しています。



参加は
こちらから
[https://
mm-kentei.jp/](https://mm-kentei.jp/)

宮城県は歴史・文化面をはじめ、産業面でも他の地域に誇れる魅力がたくさんあります。そこで、毎年実施している「宮城マスター検定」の問題の中から、意外と知らない宮城県の魅力についてクイズを出題します。さあ、全問正解を目指して頑張りましょう！

問1

宮城県には国指定の伝統的工芸品が4品目あります。宮城伝統こけし、雄勝硯、仙台筆筥、残の一つは何でしょうか。

- A 堤焼 B 玉虫塗
C 鳴子漆器 D 仙台平

問2

細倉マインパークの観光坑道の長さは何メートルあるでしょうか。

- A 333メートル B 555メートル
C 777メートル D 888メートル



問3

東日本大震災後、カナダからの支援を受けて造られた建物が令和5年5月に開館10周年を迎えました。名取市閑上のゆりあげ港朝市にあるその建物の名称は何でしょうか。

- A きずな館 B カナダ館
C メイプル館 D ナイアガラ館

問4

日本地質学会が定めた「県の石」として、宮城県からは岩石で「スレート」、化石で「ウタツギヨリユウ」が選ばれています。残る鉱物は何でしょうか。

- A 菊面石 B 砂金
C 方鉛鉱 D 石英

問5

毎年10月に白石市で開催される「鬼小十郎まつり」は、二代片倉小十郎の戦を再現したのですが、その戦は何と呼ばれているでしょうか。

- A 大坂夏の陣 B 大坂冬の陣
C 人取橋の合戦 D 長谷堂の合戦

問6

登米市の柳津虚空蔵尊は諸国を巡歴していた高僧が本尊の菩薩像を彫ったと言い伝えられています。この高僧とは誰でしょうか。

- A 円仁 B 円空
C 徳一 D 行基



問7

石巻市の万石浦や牡鹿半島の荻浜湾は、宮城新昌が世界で初めて、ある水産物の養殖の実用化を成功させたことから、この水産物の養殖技術発祥の地といわれています。この水産物はどれでしょうか。

- A ほたて B ぎんざけ C のり D かき

問1/C □ 問2/C □ 問3/C □ 問4/B □
問5/A □ 問6/D □ 問7/D □

宮城県のシンボル



県章

県花として親しまれている「ミヤギノハギ」を図案化したもので、「みやぎ」の「み」を表しています。

昭和41年7月制定



県花 ミヤギノハギ

古今集など多くの歌に詠まれていた秋の名花。赤紫色や白色のきれいな花をつけます。

昭和30年3月選定



県木 ケヤキ

古名は「槻(ツキ)」。平安時代には、柴田町槻木にケヤキの並木がつくられたといわれています。

昭和41年9月制定



県鳥 ガン

別名カリ、カリガネとも呼ばれ、本県は、国内最多の渡来地です。伊豆沼・内沼や蕪栗沼付近に多く見られます。

昭和40年7月指定



県獣 シカ

本県に生息するシカは、ホンシュウシカの代表的なもので、金華山や牡鹿半島などに生息しています。

昭和40年7月指定

宮城県の情報は
こちらから

Internet

インターネット

ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/>



メールマガジン

「メルマガ・みやぎ」(毎週金曜日配信)

<https://www.pref.miyagi.jp/site/mailmaga/>から登録を



フェイスブック

「宮城県広報課フェイスブック」(随時配信)

<https://www.facebook.com/pref.miyagi>



X(旧ツイッター)

「宮城県 @myg_kouhou」(随時配信)

https://twitter.com.myg_kouhou



Radio

ラジオ番組

TBCラジオ

「県からのお知らせ」毎週金曜日:午後2時20分~22分

「ラジオ県民だより」毎週土曜日:午前11時50分~55分

Date fm

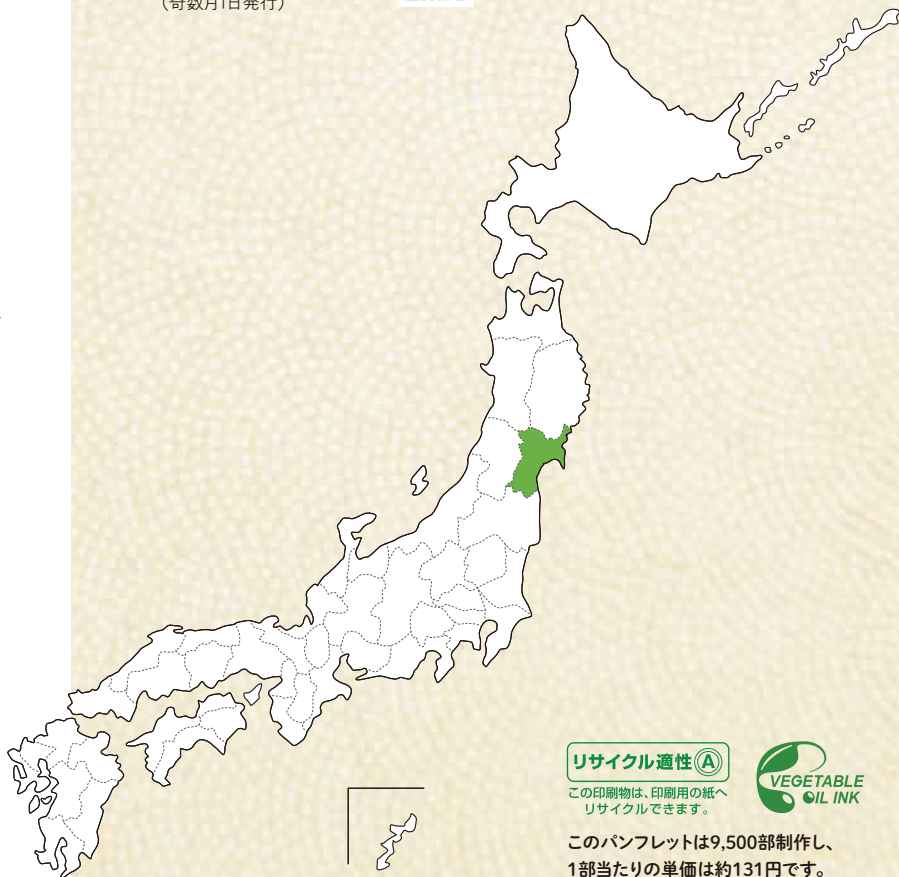
「アラウンドザミヤギ」

毎週月曜日~金曜日:午前10時35分~39分

Print Media

印刷物

広報紙「みやぎ県政だより」
(奇数月1日発行)



MIYAGI PREFECTURE JAPAN

私たちの宮城県

編集・発行 / 宮城県広報課

〒980-8570

仙台市青葉区本町三丁目8-1

☎022(211)2283

ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/>

Eメール kohoka@pref.miyagi.lg.jp

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



このパンフレットは9,500部制作し、
1部当たりの単価は約131円です。
令和6年4月初版発行